

令和2年9月4日

嬉野市議会

議長 田中 政司 様

総務企画常任委員会

委員長 宮崎 良平

## 総務企画常任委員会報告書

令和2年6月定例会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名

### 新型コロナウイルス感染症関連について

調査の理由

新型コロナウイルスの拡大を受けながらも、自粛が緩和されつつある国や地域も出てきてはいるが、第二波、第三波も予想され、未だ先行きが見えない現況である。

そのような中わが市の観光業においても大きな打撃を受けており、商店街及び宿泊業の現況とウィズコロナ、アフターコロナにどう対応すべきかまでの生の声を伺うべく、嬉野温泉商店街協同組合、嬉野温泉旅館組合の方々と「新型コロナウイルスの影響等について」をテーマに意見交換を行った。

調査の概要

テーマ「新型コロナウイルスの影響等について」

- 1、コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて
- 2、今後の対策等について

調査日 令和2年7月20日（月）20時00分～21時30分

場所 嬉野市文化センター 2階 展示室

対応者 嬉野温泉商店街協同組合 木原 靖弘 理事長  
他 10名

調査日 令和2年7月30日（木）11時00分～12時30分

場所 うれしの市民センター 会議室2

対応者 嬉野温泉旅館組合 池田 榮一 理事長  
他 8名

## 【嬉野温泉商店街協同組合】

### 1. コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて

○国・県・市等の給付金及び支援制度は有難かったが、まだまだ厳しい現状は変わらない。

そのような中、これまでの市独自の支援策においては、緊急措置的な意味合いを持つものであったことは理解しながらも、○in うれしの事業「コトクーポン」、「モノクーポン」等の利用のしづらさ、旅館及び商店街各店舗での説明のわずらわしさ等で利用されないお客様が多かった。支援は有難いが、現場やお客様ニーズとはかけ離れているように感じた。

また地域経済、市中の購買も縮小される中、市民向けの商品券配布、市民や地元事業者間での地産地消の推進等地元で支え合う施策が欲しいとの意見があった。

### 2. 今後の対策等について

○新型コロナウイルスへの対策として、商店街協同組合だけでなく様々な団体や組合等と一致団結してお客様を呼び込む仕掛けづくりをすべく、業界の枠を超えた話し合いの機会を市で取りまとめてほしい、また市が行う支援策は有難いが、最大限効果を高めるためには現場の意見聴取、協議を踏まえ、実施方法等を共に考えていくという形をとっていただきたい等の声があがった。

## 【嬉野温泉旅館組合】

### 1. コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて

○全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加していく中、○in うれしの事業は、効果的で即効性もあり、マイクロツーリズムの可能性を感じた。

### 2. 今後の対策等について

○今後旅行の形態が大きく変わり団体客の誘客は見込めず、個人客中心とした旅館の在り方を求められており、ハード面の設備投資が必要になる。合わせて設備廃棄ということも考慮しながらの支援策を要望したい。

○市は近隣市町と連携し観光周遊キャンペーンを考えているが、このコロナ禍においてお客様の行動は旅館及び近くでゆっくり過ごしたいという安心感のある旅行に傾いており、観光周遊よりも平日の宿泊キャンペーン等に力を入れてほしい。併せてキャンペーン、クーポン事業では、お客様も、受け入れ側も、すごく簡単で分かりやすい形で施行できるよう行政においては現場、事業者の声を今後はしっかり聴取し参考にしてもらいたい。

○景気の停滞が今後も続くと予測される中、半年後、1年後からの税金、借入金の猶予期間も終わり支払いが始まる。現在も大切だが将来的な不安解消のための施策も視野に入れるとともに、国の雇用調整助成金延長への要望もお願いしたい。

### 委員会の意見

今回嬉野市の観光を支える二つの団体との意見交換会を開催したが、その中で市が行った緊急的な支援措置については賛否両論意見が分かれることはあったものの、ウィズコロナという観点で経済活動を進めていくということにおいて、今後は市が主導するだけでなく、これまで以上に現場の声を聴取し、協議を重ねること、またより分かりやすく効果的な施策が求められていることは共通の意見として感じた。しかしながら特に旅館業においてはハード面、ソフト面とも多額の予算を必要とする。市単独の予算では限界があり、更なる県・国への要望が喫緊の課題であると考えます。

またコロナ禍の厳しい現況の中、上にあげた意見以外にも様々な意見や提言をいただいた。しかしそのほとんどが悲観的なことではなく前向きで、新型コロナウイルスを機に市の、また観光業の活性化に向け新しい形を模索しているように感じた。

新型コロナウイルスにより、わが市の基幹産業でもある観光業の灯が絶えることのないよう市としても最大限努めるべきである。